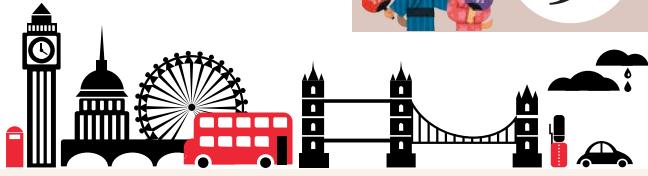




NewsLetter



Japan Association in the UK | 77 Victoria Street Box 108 London SW1H 0HW
Web: <https://japanassociation.org.uk> | E-mail: secretary@japanassociation.org.uk

事務局長: ウィンター千津子
英国日本人会ニュースレター第303号 28 September 2023
Registered charity number: 1145493



JAPAN MATSURI 2023

日本の武道や伝統楽器、ワクワクパフォーマンス、日本食屋台など盛り沢山! 英国日本人会もストールを出店します!
皆様、ご家族、お友達とは是非お出かけください。

英国日本人会のストール

- セカンドハンド 小物 販売 ●似顔絵コーナー
- 着物着付けコーナー

パフォーマンス(会員)

- | | |
|---|-----------------|
| ●英国日本人会阿波踊り | 14:20~ ※参加は自由です |
| ●廣田丈自&ロンドン太鼓 | ①10:00~ ②18:55~ |
| ●田中弘子日本舞踊 | 15:20~ |
| ●デューク更家 | ①11:35~ ②16:00~ |
| ●鈴木ナオミ・ジャパン祭りソング ①10:10~
②フィナーレ18:30~ (フィナーレにあの人気者「とにかく明るい安村さん」参加) | |
| アニメ「鬼滅の刃」テーマソング 17:40 | |

※16:00と17:30に日本のお菓子「ハイチュー」の無料配布があります!

4年ぶり! ジャパン祭り 開催のお知らせ!!

日 時: 10月1日(日) 10時~20時

場 所: トラファルガー広場

タイムテーブル <https://japanmatsuri.com/matsuri-performers/>

ウェブサイト <https://japanmatsuri.com/>

ジャパン祭りを応援してくださっている皆様へ

10月1日(日)、4年間待ちに待ったジャパン祭りが遂に、トラファルガー広場で開催されます。

今回の開催にあたり、多くの課題を皆様と共に乗り越え、実行委員会としてこの日を迎えることは感無量です。これまでの皆様からの沢山のご支援に、心より感謝申し上げます。
私たち実行委員も心を一つに、日本への想いを込めて準備を進めてまいりました。

今年は、英国の人気番組「Britain's Got Talent」で一躍人気者となった「とにかく明るい安村さん」が日本から遙々参加してくださいます。日本のお菓子「ハイチュー」のサンプリングもありますのでお楽しみに!

皆様の笑顔を拝見しながら、一緒にステージパフォーマンスや屋台を楽しむことができましたら幸いです。

10月1日、ジャパン祭りでお会いしましょう!!

ジャパン祭り実行委員会一同



理事会だより

●9月5日に行われた理事会の抜粋●

◎川瀬英國日本人会名誉会長(在英日本大使館総括公使・総領事)は10月上旬、韓国へ転勤、次期の総括公使・総領事は孫崎馨氏。10月上旬に赴任予定。

・ニ水会の仮責任者について、ニ水会部の部長が決まるまで副会長のホワイトハウス敦子さんにお願いする。

・現在あるバナーは非常に重いため、軽いバナーを作成する。

重いバナーは原則的にはゴルフ大会等、外でのイベントや、大人数のイベントで使用することとする。

・JAクラブ(旧日本館)の支払いのアカウントは試験的に始めたJAクラブが成功裡に進んでいるため、JAクラブに関する経費は第1回目まで遡り、“日本館”への寄付としてプールしてある資金より支払うこととする。

会員部

●今月の会員の動き●

新入会員:3名 退会者:9名 会員数:334名

名誉会員:8名 全会員数:342名

◎会員部のお手伝いを探しています。Excel のできる方、ぜひご連絡ください memebership@japanassociation.org.uk

◎現在、音楽家、画家、陶器家その他のスペシャリスト、舞踊、ダンス等、公演や展覧会、または個人で何か催し物をなさる会員の方は条件なし(ティケットの割引等の条件なし)で一斉メール、会報等に載せて会員にお知らせしています。もし、音楽会、展覧会また個人で行う催しもので会員にお知らせを流すことをご希望の方は会員部 membership@japanassociation.org.ukまでお知らせください。またその様な方をご存知でしたら是非 JA の会員になられることをお勧めください。

◎10月は会員費の更新時期となります。会員費更新のお願いは8月末に発信しております。よろしくお願ひいたします。締め切りは9月30日です。まだ、更新なさっていらっしゃらない方は速やかに更新をお願い致します。

更新フォーム <https://forms.gle/64QVHsi1jwuUEP2x5>

お問い合わせ: membership@japanassociation.org.uk

◎会員特典サービス協賛店リストは下記を参照ください。
(新しい協賛店もあります)

<https://japanassociation.org.uk/ja-会員特典サービス協賛店リスト/>

◎組織 <https://japanassociation.org.uk/理事会構成/>

◎会則 <https://japanassociation.org.uk/英国日本人会-会則/>

◎GDPR Policy <https://japanassociation.org.uk/事務局より/ja の gdpr-policy/>

◎ご家族のメールアドレス追加をご希望の方は下記にご連絡ください。Eメール membership@japanassociation.org.uk

新入会員との懇親会の報告

9月14日、大和ファンデーションのダイニングルームにて、新入会員と理事の懇親会が行われました。この目的は2020年ロックダウン以来、入会して下さった会員の方々を対象にロックダウンのため、対面の例会、懇親会等に参加される機会がなく、私たちともお目にかかるチャンスが少なかった新入会員を対象として企画したものです。

ロックダウンが始まった2020年3月よりご入会の方は70名以上に上りました。懇親会が行われたのが昼間でしたので、どのくらいの方々にご参加いただけるか心配でしたが、最終的には18名ご参加、

理事は7名参加で簡単な巻き寿司、サンドイッチ等の軽食を楽しみながら、和やかな談話会となりました。



自己紹介でも色々な特技をお持ちの方も多く、これからJAの活動に大いに為になる、そして役に立っていただける方もたくさんいらっしゃり、やはり個人的にお話を伺えるとても良い機会でした。

これを機に毎年この新入会員歓迎会を行うまでは行かなくても時々、新入会員との会を行いたいと思います。

ご参加くださいました方々、どうもありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。会員部

父 原三郎

さる 4月 17 日、ロンドンには珍しく空が青く太陽が燐燐と照っている日の午後 6 時 30 分に父原三郎が、自宅で静かに息を引き取りました。101 歳の誕生日をあと 5 週間にしてでした。街路樹の桜も満開でした。

前日まで、絵を描いたり、家中を歩行器で歩いたりと、最後まで人生を楽しく、穏やかに、明るい気持ちで生きた人だつたと思います。とても安らかな最後だったので、姉も私も平穡な気持ちで父の死を受け入れることができたことが、幸いです。駆けつけてくださったかかりつけのお医者様、Dr Palacci も "What a way to go" と、感無量といった感じでした。昨年までお掃除の手伝いに来てっていた Maria も、悲報を聞いて、"I'll never forget your father. He was a kind man, who was always polite" と書いたカードをわざわざ届けてくれたのには心を打たれました。近所の方々もご親切に綺麗な花束やカードを届けて下さいました。

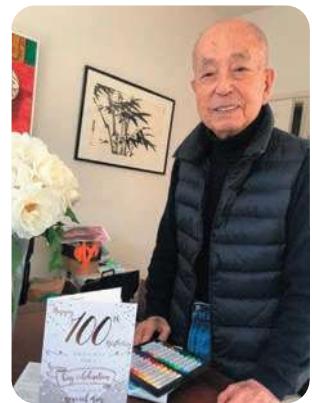
父は、cleaning lady、近所の方々、お医者様から、学校の先生にいたるまで、分け隔てなく丁寧に接していました。この当たり前のようなことが人々の心をつかんだんだと思います。

父は、1922 年（大正 11 年）当時日本領だった台湾の小さな島、坊湖島で生まれました。坊湖島は日本海軍にとって重要な基地で、父の家族は海軍相手の商売を営んでいました。でも、島には日本人学校がなかったので、まだ幼い時に東京に小学校入学のため送られて、家族とは離れ離れの生活が続きました。（坊湖島には、休みの時にだけ帰っていたようです。）二高卒業後、東京工業大学に進み、卒業後は三井物産に入社、札幌支店勤務の時に母と結婚、その後 1960 年時代にマニラ支店に単身赴任した後、海外をくまなく出張で飛びまわっていました。そうやって世界を見るのが好きだったようです。

ロンドン支店には 1970 年から、3 年間赴任しましたが、その時は母と私達 2 人もいっしょでした。そして、帰国して 35 年後、2018 年、86 歳の時に東京の家を売って、再び母と私とともにロンドンに、今回は、永住のために移ってきたのですから、その open-mind と積極性には驚きます。イギリス移住を決断したのは、イギリスに永住した姉と一緒にまた家族 4 人で生活するためでした。父にとって家族の存在は大きかったと思います。

ロンドンでは、姉が住んでいた Putney に家をかまえましたが、幸い近くに art school があるので、そこに毎週通って、絵の勉強を続けました。“いやー楽しかった。”と、迎えに行くといつも笑顔でい言っていました。つねに childlike innocence を持っている人でした。この学校で、Shaun というとても親切な先生と巡り合い、水彩やパステルを手ほどきして頂きました。

昨年 5 月 24 日、100 歳の誕生日にプレゼントのパステルセットを前にして



柔軟な人柄が幸いして、Shaun やクラスメイトに好かれましたが、クラスの後、掃除を手伝った時、テーブルの下に落ちているゴミまで拾っているのを見て、先生が驚いたのを思い出します。"He was a humble, polite and dignified. And he often made me laugh!" と Shaun は懐かしそうに言っていました。

残念ながら Covid の後教室が、エレベーターのない建物に移動したため、学校には通えなくなったのですが、家でパステルで静物画をほぼ毎日描いていました。

歌を歌うのも好きで、千昌夫の星影のワルツと湯島白梅が最後まで彼の favourite でした。社交ダンスも若い頃培ったようで、Farm Street Church の日本人の集いで、出席者の女性の方々とワルツを踊った姿が、今思い出されます。

葬儀は Putney Vale Crematorium で行われたのですが、近所の方々も数多く参列してくださいました、追悼の言葉ものべて下さいました。姉のお友達は Robert Byrns の心温まる詩を朗読してくださいました。姉と私は父の供養のために湯島白梅をヒデさんのギター伴奏で歌いました。その後、父が好きだった Edelweiss をやはりヒデさんの伴奏で参列者全員で歌いました。とても和やかな時間でした。

皆様にご報告するのが遅れてしましましたが、姉も私も静かな時間が必要だったことをご理解頂ければ幸いです。会長のウィンターハリス様のご配慮とご親切に深く感謝いたします。

母が亡くなつて 7 年間、父と 3 人で生活して、父を近くで垣間見て、学ぶことが沢山ありました。こだわらないこと、前向きに生きること、周りの人につねに丁寧に接すること、などです。ほんとに口数が少ない人でしたが、いつもニコニコして皆に接していました。"He's a gentle soul" と友人の Anne が常に言つていましたが、実際にその通りだったと思います。高齢を重ねるにつれ、外の皮がだんだんむけて彼の人間性の本質が出てきた感じさせました。そういう意味でも、父にとって最後の数年間が一番充実した時だったのかもしれません。姉と私と父の 3 人が一番心が通じ合う関係ができた時でした。長年の皆様のご親切とご配慮に深く感謝いたします。 合掌

原 信子

各種イベント参加者へのお願い：

JAのイベント全てに関わる怪我や事故については自己責任において処理をされ、主催者の責任ではないことをご了承ください。

二水会部

●2023年7月の報告●

日 時：7月5日(水)午後8時より

講 師：在英國日本国大使館参事官兼領事 園部 健治様

演 題：領事の仕事あれこれ

会 場：Zoom スクリーン上

参加人数：30名

領事の仕事あれこれ（在勤地での主な取り組み）

●ネパール：査証発給、邦人援護（登山・トレッキング等死亡事故、精神障害）、緊急事態対応（民主化騒動）

●英国（I）：在外選挙、旅券発給（紛失・盗難）、海外教育、邦人援護（精神障害、領事面会等）

●バングラデシュ：査証発給、邦人援護（困窮邦人）、安全対策

●オランダ：領事出張サービス、海外教育、邦人援護（アイスランド火山噴火による空港閉鎖（旅行者空港内留め置き）、緊急事態対応（トルコ航空機墜落事故）、感染症対策（豚インフルエンザ）

●フィリピン：海外教育、安全対策、日本人戦没者慰靈

●南アフリカ：領事出張サービス、安全対策、邦人援護（第三国からの緊急移送）

●英国（II）：感染症対策（新型コロナウイルス（含 我が国の水際措置緩和に伴う査証発給））、領事手続きの電子化（旅券、証明、査証のオンライン申請・領事手数料のオンライン納付）

【参考】応援出張：緊急事態対応（現地緊急対策本部対応・家族対応）

* ネパール：タイ航空機墜落事故（外務省勤務時）

* スリランカ：スマトラ沖大地震・インド洋津波被害（外務省勤務時）

* ニュージーランド：クライストチャーチ地震（在フィリピン大在勤時）

置場とはとても呼べないような場所に拘留されている人への邦人支援もあったそうです。また、ベルリンの壁の崩壊の翌年には、ネパールでも王政に反対する民衆の運動が大きくなり、外出禁止令が出た時には、当時在留していた200数以上の邦人に安否確認の電話をかけていたと聞き、驚きました。

次の赴任地の英國では4人での担当でした。パスポートの発給、海外教育の担当でしたが、2000年に始まった在外選挙の前年度から、その対応が新しい業務として加わったそうです。また、邦人援護では、ネパールではなかった、加害者となり収監された邦人への領事面会ということがあったそうです。英國では、在留邦人・旅行者の数が多い国であるため、ネパールとは違う点も多くあり、忘れる事のできない任期となつたそうです。

その後、バングラデシュへ転勤となり、そこでは仕事の8割はビザの発給審査でした。日韓ワールドカップが行われた当時の観戦目的のビザ

（※この文章は個人の感想であり、事実を正確に伝えることが目的のものではありません。聞き間違いなどにより、正確性に欠ける、または誤解がある可能性があります。）

昨年秋に続いて、在英國日本国大使館から園部参事官兼領事にお話いただきました。これまでの仕事の経験について聞くことができるということから、楽しみにしていました。

「領事とは」というところから話が始まりました。そもそも、一説によれば中世後半ヨーロッパのギルドが起源で、組合同士の紛争の仲裁が起源と言われているそうです。なるほど、外交や大使館と聞くと、何となくヨーロッパのイメージがあるので、納得しながら聞き入りました。領事業務の法的な根拠の一つは、1963年のウイーン条約に遡ります。（意外と最近ですね。）旅券（パスポート）・査証（ビザ）の発給、自国民の援助などが決められているそうです。

園部領事は、34年前にガーナで外務省の採用となり、その後にネパールへの赴任から、現在に続く領事の仕事が始まったそうです。パスポート・ビザの発給、婚姻届の受領など、古典的な領事業務と呼ばれる仕事を担当され、その後の全ての大使館で同様の業務に携わってこられたそうです。最初のネパールでは、日本国内で外国人の不法就労・不法滞在が社会問題となっていた時期もあり、おかしいと思ったら、日本行きのビザの発給を拒否することもあり、身の危険を感じることがあったそうです。ネパールにはインドから流れてくるヒッピーのような人がいて、その中に、薬物で保護される日本人もあり、日本では留

申請では、どのチームの試合か申請者に質問しても答えられないということや、偽造・変造の書類が多いといったことがありました。また、調理のコックの申請であれば、実際にレストランで働いているのかを確認に行つたこともあったそうです。探偵顔負けというか、そういうこともするのだと、興味深く話を聞きました。書類だけを見て、OKという訳にはいかないのですね。）

その後、東京での勤務を経て、次はオランダです。その後の南アフリカと同様に、オランダでは大使館の所在地と邦人が多く居住している場所とが異なるため、オランダでは毎月一度、南アフリカでは毎週、出張を行つて領事業務を提供していました。オランダの次の赴任地のフィリピンでは、治安の観点から、ショッピング・モールなどを除いて、街中を歩く機会は多くなかったそうです。困窮邦人の問題では、個人への経済的な支援を大使館としてすることはできず、日本の家族からも協力を得られない人がいるなど、対応が難しい場合があったそうです。フィリピンで特徴的だったのは、太平洋戦争があったことから、8月15日には日本人戦没者慰靈祭に総領事も参加するという話を聞き、現在を生きる邦人のみならず、祖国を離れたままのご先祖を供養する業務には、改めて頭が下がる思いでした。フィリピンの次には、南アフリカでの勤務となりました。南アフリカは、医療が進んでいるということで、他のアフリカの国から、医療のための緊急移送ということがあったそうです。また、赴任した国の中では南アフリカが一番治安が悪く、警官が車を止めて賄賂を要求



するということもあったそうです。そして、現在は2度目の英国赴任をされています。

園部領事曰く、「領事業務はどの大使館でも、同じような業務を提供している、これは仕事なのでやって当たり前です。しかし、大使館の中でも、経済や政治に関連する業務を行なっている方とは、明らかに異なる仕事を行なっていて、また、それを幸せを感じています。」ということでした。それを聞いて、現場を歩いてきた人の言葉だということを感じました。質疑応答の中では、内向きになっている日本への心配、電子化の状況・マイナンバーカードについて、杉原千畝さんとビザ発給業務について、在外邦人が死亡した場合の大使館の対応について、日本の政府要人が海外への渡航する際のパスポート・ビザについてなど、活発な質問がありました。邦人のサポートをしてもらえる大使館に感謝すると同時に、日本の存在を海外に発信する支えとなるような、そんな期待を大使館にできるのではないかと感じる講演でした。頑張れニッポン！（伊東ノリ）

●10月二水会部のお知らせ●

日 時：10月11日(水)午後8時より

演 題：日本における英国ビジネスの成功

　　「 **ウィルキンソン 炭酸ミネラルウォーター**」（日本語での講演）

講 師：**ジェイスン・ジェイムズ大和日英基金事務局長**

参加費：英國日本人会会員：無料、非会員：3ポンド

会 場：Zoom

＜講演内容＞

ウィルキンソン創業者のジョン・クリフォード・ウィルキンソン氏（1852-1923）は1872年、20歳で英国北部の都市リーズを後にし、神戸の貿易会社ハンター商会で働き始めました。1889年に宝塚で狩猟をしていた彼は、地中から天然炭酸のミネラルウォーターが湧き出している場所を偶然発見し、これがウィルキンソン・炭酸・ミネラルウォーターの始まりとなりました。その後、様々なグループ企業が設立され、やがては日本最大級の飲料会社に成長しました。ジェイムズ氏は詳細を知るために現代の宝塚を訪れ、ウィルキンソン氏が最初に見つけた場所で今も水が

墓地管理部

●ヘンドン日本人墓地、恒例秋の墓地清掃供養●

恒例秋の墓地清掃供養を10月21日(土)11時頃から行います。ご都合のつく方はお手伝いをお願い致します。共にご参詣ください。当日は雑草取り用具、ゴム手袋、等清掃用具等が有れば有益です。清掃後、三輪精舎の石川建心師より、供養が行われます。

日 時：10月21日(土)11時頃より

場 所：Hendon Cemetery & Crematorium
Holders Hill Road,
Mill Hill London NW7 1NB

藤田(J.A.墓地管理部)

Tel:0208 208 0408 またはTel:07930 455 026



湧き出ているのを見て感動したものの、残念なことに、それ以外に目に見えるものはあまり残っていなかったとのことです。今回の講演では、ジェイムズ氏には、日本におけるウィルキンソン家のビジネスの魅力的な物語を日本語で語っていただきます。

＜プロファイル＞

2011年10月に大和日英基金の事務局長に就任。13才の時に聖歌隊のツアーで来日し日本に魅了された。ケンブリッジ大学キングス・カレッジでは日本学を専攻、1987年に栄誉ファースト・クラスで卒業。その後、金融業界に長年勤務。日本株を専門とし、HSBC証券会社東京支店の調査部部長、HSBCロンドンのグローバル・エクイティ・ストラテジー部長等を歴任。2007年～2011年、ブリティッシュ・カウンシル駐日代表。同時に欧州連合文化機関日本代表、日英協会理事（及びアワード・コミッティーの委員長）、ユナイテッド・ワールド・カレッジ日本協会役員を務める。

ジェイムズ氏の日本に関する興味は、経済、金融市场、税制度、文学・芸術、日英関係等、多岐に渡る。著書もThe Political Economy of Japanese Financial Markets（共著 Macmillan, 1999年）やEdmund Blunden and Japan（Asiatic Society, 2010年）等、多分野に及ぶ。

日英関係への貢献が認められ、今年OBEを授与された。

＜参加申し込み＞

下記のリンク先よりお申し込みください。（100名まで）

<https://forms.gle/svbbNjpsH5EaaUuu6>

質問等は仮幹事のWhitehouse佐藤敦子（Whitehouse@japanassociation.org.uk）までご一報ください。

●11月二水会部について●

11月の二水会は、11月8日にナルク部と共に、骨粗しょう症を含む高齢期に気をつけるべき健康についてのセミナーをロンドンのNHS Islington高齢者精神科のクリニックで診療をされている田頭弘子医師にお話をいただきます。詳細は一斉メールで別途お送りします。

紅葉会部

●10月の紅葉会部懇親会「忘れた草プロジェクト」映写会●

日 時：10月26日(第4木曜) 13:00～16:00 (12:45より入場可)

場 所：Farm Street Church, 114 Mount Street

London W1K 3AH

最寄駅：Bond Street / Green Park

●今後の自彌術●

毎月第一第三月曜日

10時よりZoomにて

講 師：伊藤恵子さん

お問い合わせ：

koyokai@japanassociation.org.uk



9月に入りインディアンサマーの訪れを楽しんだ後に、一気に秋模様の日々ですが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。ナルク部の今月の活動報告をお届けします。

●ズンバゴールドチアーチャー教室

8月にお休みをいただいた後、今月は通常通り第一火曜日の5日の11時から教室を行い、8名の方々に参加いただきました。10月も3日11時から行います。

●ヨガ教室

ヨガ教室も8月はお休みをさせていただきましたが、9月は第二火曜日の12日10時から開催して6名の方々に参加いただきました。10月も10日10時から行います。ヨガ教室は他の教室と違い1時間早い10時からとなりますので、お気を付けください。



●マインドフルネスなヨガ教室

8月は22日に行い、11名の方々に参加いただきました。9月は少し遅い夏休みでお休みとさせていただきますが、10月は通常通り第4火曜日の24日11時から開催します。

●ナルク部例会

9月7日にオンラインで行い、ナルク部へいたでいるサポートの問い合わせについて確認し、秋に向けての講演会のスケジュールと内容について話し合いました。

この数年、エンディングノートを準備できるための勉強会として法律とファンナンシャルプランニング関連の講演会を年に2回開催していますが、今回はナルク部の関係の方々が骨粗鬆症による圧迫骨折をして苦労されたことからも、高齢期に気をつけるべき健康についてのセミナーを開催することが決りました。この講演会は別途詳細を一斉メールでお送りしますが、部長のホワイトハウス佐藤敦子が二水会のお手伝いを後任が決まるまで行うことから、11月8日の二水会でナルク部が共催し、ロンドンのNHS Islington高齢者精神科のクリニックで診療をされている田頭弘子医師にお話を来ていただくこととなりました。

●時間預託システムについて

JAの会員の方々はナルク部の時間預託のシステムをご利用になれます。このシステムは、JA会員の方々が気兼ねなくサポートを依頼できるように、JA会員の皆様に付与されているナルク部時間預託のための10ポイントを利用して、病院の付添、買い物サポート、庭仕事のお手伝い等を受けるというものです。そこで、お怪我で買い物が難しい、病院への通院が一人では不安な際などは、お気軽にナルク部 (nalc@japanassociation.org.uk) までご連絡ください。ご希望いただきましたら、サポートができる会員の方を一斉メールで募り、コーディネートをさ

せていただきます。その際、サポートいただく会員の方の交通費等は実費でお支払いいただきますが、実際にサポートいただいた時間は会員の方保有のポイントから一時間あたり1ポイントをお手伝いいただいた方へお支払いいただくためその他費用は基本的に発生しません。

●JA会員のネットワークを利用したお尋ねごとなど

JA会員のネットワークを利用して、地元の庭師の紹介など、必要な情報を収集するお手伝いなども、一斉メールを通じてナルク部では行っています。お気軽にnalc@japanassociation.org.ukへご連絡ください。

注：ご紹介いただいた業者または個人の方と、ご依頼者の間の連絡や契約については、両者の自己責任において処理いただき、JA及び紹介者の責任ではないことはご了承ください。

ナルク部では、コアとなってお手伝いをいただける方を常に募集しています。会員の方への連絡係やオンライン教室や講演会開催のお手伝いなど、ご興味がありましたら、お気軽にご連絡ください。

英国日本人会は10月1日の Japan Matsuriで阿波踊りの パフォーマンスを行います。

そこで、最終の事前練習会を当日お手伝いいただく和太鼓の廣田丈自さんも参加して下記のように予定していますので、ぜひご参加ください。



日 時：9月28日（木）

紅葉会終了後15時から16時まで

場 所：Farm Street Church, 114 Mount Street, London W1K 3AH

Matsuri当日のパフォーマンスは午後14時27分からの予定ですが、当日の状況によっては時間が早まる可能性もあるとのことで、14時には会場で準備ができている状態としたいので、参加される方は13時50分には英国日本人会のテント（トラファルガースクエアではステージに向かって後方、ナショナルギャラリーの前の予定）にお集まりください。

また、引き続き、練習会及び当日の参加者の人数を把握するために、下記のリンクでお申込みいただければ幸いです。英国日本人会の会員以外の方の参加も受け付けていますので、ご友人もお誘いいただき、参加希望の方には下記のリンクでそれぞれ申し込みをしていただくようにお伝えください。

<https://forms.gle/6mbtASD9KKUWPgmS8>

質問等はWhitehouse@japanassociation.org.ukまでご一報ください。多くの方の参加をお待ちしています。

福祉部

福祉部の有志と希望者の皆さんで、British Red CrossによるFirst Aidの講習会に参加しました。講師のCarrieさんから、心臓マッサージをする前に適切な観察や判断を行うことの大切さを、スライドを使って大変分かり易く解説して頂きました。今後もこのような講習会を開催できたらと思います。感謝の意味を込めて、参加者でささやかながらRed Crossに寄付をしました。



＜懇親会＞

北支部と各支部合同の2つの懇親会のお知らせです。どちらにお住まいの方もJAの会員以外の方も参加可能ですので、お友達をお誘いの上是非お出かけください。尚、非会員の方は食事代とは別に、3ポンドの参加費が追加となりますことをご了承願います。11月の合同懇親会は土曜日に行います。普段はお仕事や他のコミットメントなどで参加が叶わない方も、この機会に是非ご一緒ください。皆さまの参加を福祉部一同楽しみにしております。

北支部主催の懇親会

日 時: 10月10日(火) 12時より14時まで
会 場: Sarang Korean Restaurant Tel: 020 8455 1035
住 所: 887 Finchley Road NW11 8RR
最寄駅: Golders Green駅(Northern Line)
申込先: スコット純子

sumiko.scott@btinternet.com Tel: 020 8340 9063

申込締め切り日: 10月4日(水)

メニューと食事代等の詳細は一斉メールにてのお知らせとなります。

合同懇親会

日 時: 11月11日(土) 12時15分より15時

文集部

●文集部よりお知らせ●

空の青さに一段と透明度が増して来たように感じられる、秋がやってきました。皆様はお元気でお過ごしでしょうか。文集『英国春秋』秋号に投稿していただいた皆様、大変有難うございました。おかげさまで、興味深いエッセイを満載して、編集完了いたしました。10月初旬には、E-文集配信、中旬には印刷文集郵送が出来る予定ですので、秋の夜長を文集でお楽しみくださいますように。次号春号の原稿募集要項は下記の通り、奮ってご投稿くださいますように。

会 場: St Hugh's Bermondsey教会

住 所: Vintry Court, Crosby Row, London SE1 3PT

最寄駅: Borough駅(Northern Line, 駅から徒歩4分位

London Bridge駅(South Eastern Train, Northern Line,

Jubilee Line 駅から徒歩7分位) Guy's Hospital側

詳細は追ってお知らせいたします。

＜編み物クラブ＞



この冬、自分で編んだものを身につけて外出してみませんか?手作りの品をクリスマスのプレゼントにするのも素敵ですね。まだ間に合います!お勧め作品をも含めて、経験者がマンツーマンで指導します。ご興味のある方はご連絡ください。初心者の方も、大歓迎です!

問い合わせ先: シエイラ文野

mcfshailer@gmail.com Tel: 07411 852 815

認知症のセミナー

昨年大変好評をいただいた、リッチャー美津子さんによる「認知症セミナー」(Zoomにて)の第2回目を下記の日程で開催いたします。今回は「認知症の症状が深い人との関わり方」を日本とイススの現場の経験をもとにお話しくださいます。詳細は追ってお知らせいたします。

日 時: 11月30日(木) 20時から21時半まで(Zoom)



福祉部連絡先:

一般的なお問い合わせ welfare@japanassociation.org.uk

個人的なお問い合わせ hall@japanassociation.org.uk

Tel: 07754 735 361

『英国春秋』2024年春号 (No.44)

タイトル: フリーまたは、特集

「一度会ってみたい人」、「もう一度会ってみたい人」

字 数: A4 2~3枚

(出来ればワード添付)

締 切: 2024年3月10日

(但し、原稿隨時受付)

送付先:

bunshu@japanassociation.org.uk



同好会ガイドライン：

JALの全ての同好会の活動は、会員同士の同好の集まりであり、JAの主催する活動ではありません。それぞれの同好会の主催者が個人として自主的に運営し、参加者も自己責任で参加します。JA会員・非会員に拘わらず参加可能です。JAは何ら同好会の活動に対し、責任を負いません。



スケッチ <スカイガーデン & ナショナル・ポートレートギャラリー>

7月に下見に行った時は100人以上の行列だったのが、さすが9月に入って学校が始まったせいか行列は無くすんなり建物に入ることができた。空港並のセキュリティを通り、新しいエレベーターはアッという間に35階に到着。緑の木をふんだんに植え込んだ温室風カフェがあり人々がリラックスして談笑していた。建物はガラス張りなので壁際は外を眺める人々で一杯。さらに内側にも階段があり一周出来る様になっていた。

ロンドン塔、タワーブリッジ、チームズ川、セントポール寺院、カナリーウォルフの高層ビル街などが一望でき、我々も存分に見学出来た。その後バスでトラファルガースクエアに戻り、ナショナル・ポートレートギャラリーを見学、故女王夫妻やウィリアム王子夫妻、新しい試みかD.ベッカムなどもあり、堪能した後、遅めのランチに向かった。見学は全て無料。日本ではない、この国の素晴らしい一面だ。



シェイラ文野



山下美保子



ビドル恵



ビドル恵



グリーブス邦子



山本郁子



スタンディング百合子



ハーテイみえ



竹内みどり

俳句を学ぶ会

9月の句 季語は「月」

月見上げ明日の天気を良しとする
イギリスの白夜のおぼろ秋の月
名月や我(われ)に寄り添う影法師
我が胸のさざ波知るや月さやか
はからずも満月誘う忍び逢い
ドビュシーの「月の光」に想い馳せ

キング悦子
廣瀬信子
バンダースケイフ日出美
岡部 道
松尾美和子(オハロラン)
ウィンター千津子



名月をともに愛でるや月見草
満月の夜空仰ぎし祈り込め
つわものや同じ月みて何想う
満月のウサギと遊ぶと泣く子ども
静かさやさやけき月の照らす海
誰歌う月夜の風に宴運ぶ
引越して想いにふけるけふの月

中田浩一郎
藤田幸子
アレン郁子
川西弘子
小野宣美
大河内啓子
福重久子

第34回食べ歩き会

3年7か月ぶりの食べ歩き会で、今回はちょっとポシュな日本レストランのお弁当ランチをご一緒しましょう。

日 時: 2023年10月13日(金) 12:15 - 14:45

会 場: Nobu Japanese Restaurant

所在地: 19 Old Park Lane, London W1K 1LB Tel: 020 7447 4747

行き方: Piccadilly Line, Hyde Park Corner駅より徒歩で10分

申し込み締切日: 10月10日(火) 参加ご希望の方は sumiko.scott@btinternet.com、または020-8340 9063までお知らせください。



日 時: 10月19(木) 10:30-17:00

集合場所: Kingston駅

コース: Boxhill, Dorking, Surrey

(健脚向け) を予定。日が短くなる為、コース変更の可能性あり。

担当者: 川西弘子

参加ご希望の方は川西までご連絡ください
a.alibert@ntlworld.com Tel: 07394 658 773



スマホ同好会

9月5日、MacBook PCにiPhoneをウェブカメラとして利用出来るカメラ機能(Continuity Camera)、iphone の寿命チェック・交換時期、ファイル管理アプリ Explorerと Apple iOS・iPadOSのファイル管理アプリFilesについて情報共有しました。

Online ZOOM
ミーティング予定

第1、第2、第3、第5火曜日の「午後1時から4時」です。
P8のカレンダーをご覧ください。途中参加・退出も自由です。

初めての方は松崎美枝子までご連絡下さい。
miekobarracough@hotmail.com Tel: 07903 445 144

今月の豆知識

Google Flight

Google FlightはGoogleによるサービスのひとつで、旅行したい場所や日時の最もお得な料金のフライトが見つけられる航空券の比較サイトです。300社以上の航空会社やオンライン旅行代理店パートナーからフライトを予約できます。また、Skyscannerも多く使われているフライト検索アプリです。



フィンチリー テニス同好会



毎週水曜・木曜の11時～13時に練習をしています。

Victoria Park, N3 2EBのコート。路駐可。見学歓迎。和気あいあい楽しいグループです。参加費など詳細はお問合せください。

幹事 オークリー千春: ja.tennis@outlook.com

* JAクラブの報告とお知らせ *

第3回目JAクラブは9月7日(木)午後12時から4時まで開催されました。

今回は延べ、20人以上の会員の方がいらしてくださりとても楽しい一時を過ごしました。今回も自家製のお野菜の販売もあり、かぼちゃ、きゅうり、紫蘇など、完売でした。遅くいらした方々も持ち込みのお菓子やお茶を楽しみ、また、この時にはブランド啓子さんによる「XX漏れを防ぐ」体操もあり、私たちには大変役立つものでした。また、今回は会報を編集してくださる、坂さんも飛び入りで皆さんにお目にかかる機会がありとても嬉しく思いました。

*キッチンにはマイクロウェーブ、冷蔵庫、ケトル、コップなども揃っています。また、JA専用の日本茶もあります。

次回は**10月5日(木) 12時より**。次回も自宅でできすぎてしまった、野菜、紫蘇、またバザー用品などもお持ちいただけたと嬉しいです。皆さんのご参加をお待ちしています。

第4回 JA クラブご案内

日 時: 10月5日(木) 午後12時~4時 (毎月第1木曜日)

場 所: 大和ファンデーション

13/14 Cornwall Terrace London NW1 4QP

お問い合わせ:

secretary@japanassociation.org.uk Tel: 07957 458 023

第21回 在英都道府県人会対抗 親睦ゴルフ大会(KGC) 開催報告

9月3日、Pine Ridge Golf Clubにおいて、女性22名を含む総勢106名の参加で無事に開催されました。当日は昨年同様の濃霧により30分ほどスタート時間に遅れが生じましたが、その後は快晴の絶好のゴルフ日和になりました。

多くの企業や個人の皆様からの賞品協賛を頂戴し、参加者の皆様からも「とても楽しかった」というお声を多くいただき、皆様にお楽しみいただけたのではないか、と感じております。大人数の場合、第一組のホールアウト後の待ち時間が長くなることは避けられませんが、ゴルフ場側との事前の調整で、順次食事をお出しすることで、KGCの目的の一つである「親睦」も和やかに行われたと思っております。

今大会へのご支援に改めて感謝申し上げますと共に、次回も引き続きご支援のほどよろしくお願ひいたします。



開催場所: Pine Ridge Golf Course

参加人数: 申込み108名、当日参加106名

個人優勝者: 太田 仁様 (北海道・三重連合)

団体優勝: 湘南会

(渡辺明様、外山健二様、中溝政男様、宮川正行様)

KGC会長 片野浩幸

10月 JA 活動 イベントカレンダー

詳細は各ページをご覧ください。

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
						1
2	3	4	5	6		ジャパン祭り
	ズンバ・ ゴールド・チア		JA クラブ			8
9	10	11	12	13		15
スポーツの日	アイアンガーヨガ教室 福祉部北支部懇親会	二水会部				
16	17	18	19	20	21	22
		会報締切り			日本人墓地 秋の清掃供養	
23/30	24/31	25	26	27	28	29
	マインドフルネス なヨガ教室 (24日)		紅葉会部			

テニス同好会: 10月4日、5日、11日、12日、18日、19日、25日、26日 スケッチ会: 10月12日 スマホ同好会: 10月3日、10日、17日、31日 歩く会: 10月19日 食べ歩き会: 10月13日

* 会報は会員のためにあるため非会員への転送はご遠慮ください。一般の方用には会報発行 2週間後位にJAのホームページに掲載されます